

グレーゾーンアンケート集（虐待防止研修用ワーク資料）

① ご利用者さんに必要以上にかまってしまい、ご本人のできる事を奪っていないか？と不安になります。
② ご利用者さんに呼ばれた際に「待ってね。とか、忙しいから後でね」と答えてしまっている。
③ 特性の理解など、合理的配慮のない支援をしていること。
④ ご利用者さんの物を他のご利用者さんに使ってしまった。
⑤ 支援者の都合で、急がせてしまう言動や行動で、ご利用者さんのペースを乱してしまう。
⑥ ご本人の意思とは別に、職員が効率的に支援してしまうこと
⑦ 声掛けなしにご利用者さんに触ってしまい驚かせてしまったこと。
⑧ 「〇〇しないと、〇〇しません」という言葉や発想。
⑨ 明らかに排便がなく、ご本人も拒否をされているのに、定時排泄を促してしまうこと。 (失便を防ぐ、失便があった時に衛生面を意識してトイレ誘導しているのは、わかっているが…)
⑩ 支援者の主観や価値観でご利用者を見てしまったり、支援をしてしまう
⑪ 問題行動のみに支援が注目され、ご利用者さんの強みが活かされない。
⑫ 支援員の都合で、ご利用者さんのスケジュールを組んでしまう。
⑬ 他害を行ってくるご利用者さんを制止する際に、距離感、力加減を間違え、押してしまうこと
⑭ ご利用者さんの拒否権を大事にする支援が少ないこと。
⑮ ご利用者さんに威圧的な態度をとってしまうこと。
⑯ 無知であること（①ご利用者さんのことをよく知らない②グレーゾーンという認識がない等）
⑰ 気を付けてはいるが、ご利用者さんの前で「排便」「排尿」「生理」などをとっさに口に出してしまうことがある。
⑱ ご利用者さんが成人であることを忘れ、幼児言葉で話したり、子ども扱いして接してしまう。
⑲ 複数のご利用者さんをみている時に、無視はしていないが、返答までに間があいたり、適当な言葉で対応する。（安心を与える言葉がすぐに出ない）
⑳ ご利用者さんに合わすのではなく、スタッフの都合の良い支援を選択する場合がある。
㉑ あるご利用者は夜更かししていても認めているのに、別のご利用者は頓服を服薬してまで、寝ていただくとしている。
㉒ 環境の改善をすれば回避できるかもしれないのに、薬を使用しつづけている。
㉓ 食事の際、ご利用者さんが他のご利用者さんの物を食べてしまわれた時に「盗食」と表現してしまう。
㉔ トイレにこだわるご利用者さんがいるため、一時的にトイレに施錠をしている。そのため、他のご利用者さんがトイレに行く時に、スタッフを呼ばないとトイレに行くことが出来ない。こだわるご利用者さんも、ほんとは行きたいのかもしれない。
㉕ 支援者の都合で、ご利用者さんを待たせたり、活動を遅らせてしまっていることがある。
㉖ ご利用者さんに対しフレンドリーな口調になってしまうことがある。
㉗ 苦手だなと思うご利用者さんに対して、身構えてしまうことがある。どのご利用者さんに対しても同じように支援できていないところがあるかもしれない。
㉘ ご利用者さんに大きな声で話しかけ、不穏にさせてしまったり、びっくりさせてしまったことがある。
㉙ ご利用者さんに上から目線の言葉を使ってしまう（服を着せる、薬を飲ませる、散歩に連れて行く等）
㉚ ノックをせずにご利用者の部屋に入ってしまう。